

(様式)

令和4年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・学習カードを用いた授業を行うことで、意欲的、自主的に活動する生徒が増えた。また自分の活動を見つめるよい機会になった。

(2) 課題

- ・コロナ禍で、種目や活動に制限がある中で、生徒の運動時間を減らさず、できることを最大限に行い、体力を向上させる。
- ・ICT機器やタブレット端末を効果的に活用し、主体的に学習に取り組める授業改善を図る。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コロナ禍で種目や活動に制限がある中で、体力の向上を目指し、生徒同士の間隔や、少人数でのグループワーク、教え合いを通して、知識・技能の習得につなげる。	学習カードを利用し、自分の動きを振り返るじかんを作り、チームやペアで相互評価をさせ、表現する力の習得を目指す。	ICT機器やタブレット端末を利用し、主体的、積極的に学習に取り組めるような環境を作る。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コロナ禍で種目や活動に制限がある中で、体力の向上を目指し、生徒同士の間隔や、少人数でのグループワーク、教え合いを通して、知識・技能の習得につなげる。	学習カードを利用し、自分の動きを振り返るじかんを作り、チームやペアで相互評価をさせ、表現する力の習得を目指す。	ICT機器やタブレット端末を利用し、主体的、積極的に学習に取り組めるような環境を作る。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
コロナ禍で種目や活動に制限がある中で、体力の向上を目指し、生徒同士の間隔や、少人数でのグループワーク、教え合いを通して、知識・技能の習得につなげる。	学習カードを利用し、自分の動きを振り返るじかんを作り、チームやペアで相互評価をさせ、表現する力の習得を目指す。	ICT機器やタブレット端末を利用し、主体的、積極的に学習に取り組めるような環境を作る。

